

2022.3月のブルーベリー農園その4

ウグイスが鳴きだした。キジの鳴き声はだんだん元気になっている。クローバーもびっしり葉を展開し

だした。地面の雑草もどんどん生え、花を咲かせ、背丈を伸ばし、株を広げる。虫もいろいろ動き出すが、カエルの姿はまだ見ない。農園の周囲の田んぼは肥料を混ぜてのトラクターでの耕起が始まっている



3月27日（日）

26日は終日雨だったが27日はいい天気になった。空も青く、シデコブシが5分咲きで元気に青空に花開いている。

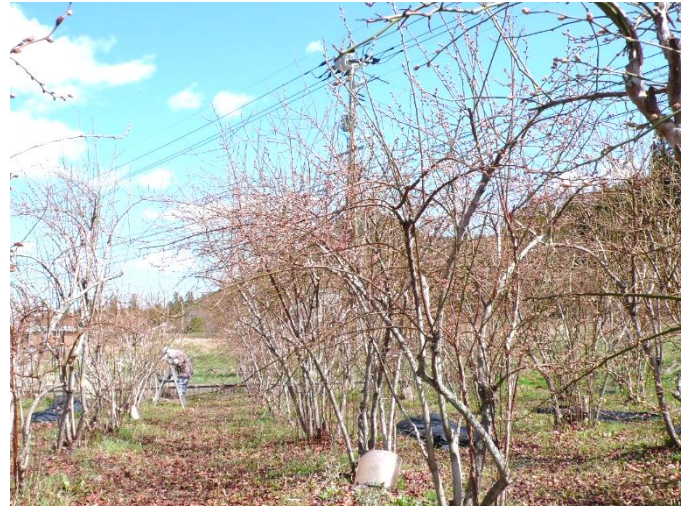


隣の畑の菜の花も本格的に咲きだしてきた。



援農に一緒にきた友人はブルーベリーの枝を燃して

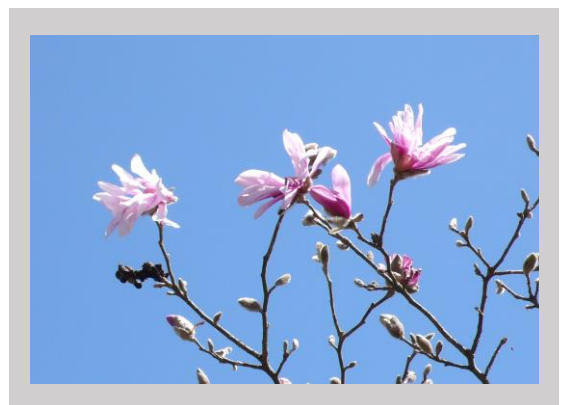
くれた。熾火で焼き芋を作るのも忘れずに仕込んだ。煙のたつ横に茶色く積まれているのがブルーベリーの剪定した枝。とても一日では終わらない量。



3段あるブルーベリー畑の一番上の段の剪定を続ける。合わせてブルーベリーの接ぎ木も行う。



毎年この時期にやるスズメバチの捕獲器（ペットボトル製）を2か所仕掛ける。中には穀物酢と砂糖が入っている。スズメバチの大量発生を抑制するためでもある。





3月28日（月）

小さい畑に伸びはびこる雑草。ピンク色の花を咲かすホトケノザも背が高くなり株が大きくなる。除草に手が回らない。



剪定をしているブルーベリー畑のあちこちにスイセンの群落ができて、花を咲かせている。



3月29日（火）

里山のブルーベリー園に行く途中の立ち枯れのヒノキが倒れていた。大きい。重くて手に負えないのでしばらくほっておくしかない。



ツクシもによきによき生えていた。



倒木の杉そばに咲くヤブツバキ。



この時期のブルーベリーの剪定した枝には、蕾が膨らみ中から 5~10 個の花芽がせり出しているのが見える。理想はこうなる前の剪定だが週末農業ではそうもいかない。

2022年3月31日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良